

宮地病院 診療担当医師一覧表

月	午前診 受付8:30~11:30 診察9:00~12:00				午後診			夜間診 受付17:00~19:00 診察17:30~19:00		研修日
	内科	整形外科	総合診療科	検査	整形外科	糖尿病外来	もの忘れ外来	内科	整形外科	
月	宮地 高橋(宏) 金澤	古泉 裏辻		内視鏡：濱田 都築			山口 14:00~17:00	上紺屋	古泉	
火	宮地 9:00~16:00 濱田 金澤	笹脇 古泉	嵯峨山		古泉 13:30~16:30 笹脇					高橋(宏)
水	宮地 金澤 高橋(宏) 都築	古泉 裏辻								濱田
木	濱田 都築	安水	嵯峨山			福岡 14:00~17:00	西谷(第2・第4) 14:00~17:00			金澤
金	高橋(宏) 濱田 都築 高橋(弥)	古泉 裏辻		内視鏡：宮地 大腸カメラ：濱田(午後のみ)	古泉 13:30~16:30			濱田	古泉	嵯峨山
土	金澤 久野	古泉	嵯峨山							

\*午前の診察は予約の方優先です。\*宮地(火曜日)と古泉(火曜日・金曜日の午後診)は完全予約となります。◎無料医療相談 毎土 9:00~12:00 高橋・濱田

本山リハビリテーション病院  
診療担当医師一覧表

◎当院は完全予約制となっております。  
◎入院相談、退院後フォローも実施しております。  
◎診察時間 9:00~12:00

月	内科	ボトックス TMS外来	リハビリ 神経内科
月	柱本		
火			
水			佐藤
木			
金	柱本		
土		第1・3・5週 竹川 9:00~16:00	

宮地病院理念

私たちは、患者様の立場に立ち、いつでも、どこでも、どなたにも心のこもった医療、温かい介護を提供することを目指します。

本山リハビリテーション病院理念

私たちは、患者様の立場に立ち、心のこもったリハビリテーション医療・ケアの提供により、いきいきとした生活を送ることができるよう支援します。

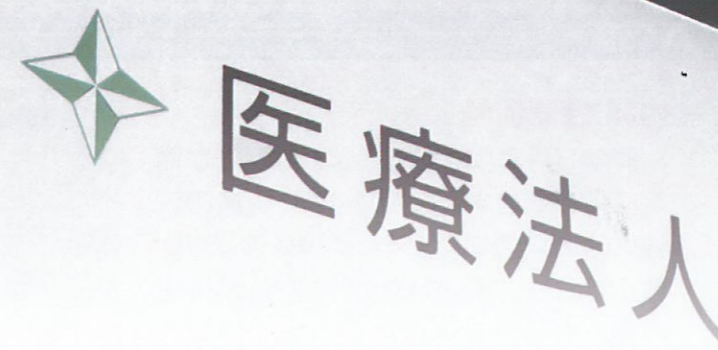
患者さまの権利

- 患者様は、人間としての尊厳が尊重され、安全で良質な医療を平等に受ける権利を持っています。
- 患者様は、受ける医療について十分な説明を受け、よく理解した上で自らの意思で医療の方法を選択する権利を持っています。
- 患者様は、自分の診療記録の開示ならびにほかの医療者の意見を求める権利を持っています。
- 患者様は個人情報の秘密が保護される権利を持っています。
- 患者様は、他の患者様や職員による医療提供に支障を与えないよう配慮し、療養に専念する義務があります。
- 患者様は、安全で良質な医療を実現するために自己の健康に関する情報を正確に提供する義務があります。



医療法人明倫会 宮地病院  
住所/〒658-0016 神戸市東灘区本山中町4-1-8  
TEL/078-451-1221 FAX/078-431-0080  
URL/<http://www.meirinkai.or.jp/>  
eメール/miyaji-hp@ksn.biglobe.ne.jp

本山リハビリテーション病院  
住所/〒658-0015 神戸市東灘区本山南町7-7-15  
TEL/078-412-8080 FAX/078-412-8787  
URL/<http://www.meirinkai.or.jp/motoyama/>  
eメール/motoyama-reha.hp@meirinkai.or.jp



KAKE  
HASHI

明倫会ニュース

2016. 1.14 vol.52

地域医療を支えるわたしたちの今年の抱負



○医療法人明倫会

理事長 宮地千尋



宮地病院はその発祥の基である甲南診療所の誕生からすでに62年を経ました。当院をこの長い年月に亘り育ててくれた地域の方々と職員の皆さんに心より感謝申し上げます。少子高齢化、格差社会の到来により待っていても患者様、利用者様は来ない、来ることができない患者様が增多する時代がやってきました。また、患者様の状態は「一人がたくさんの疾患を持つ状態」、「認知症」が増加しています。私たちは地域に密着した病院として、プライマリ・ケアを強化し地域住民の相談や支援を行い、総合的、全人的に診ることが使命だと考えています。そして、必要があれば迅速に高度な専門医に繋ぐ役割を担います。今後も在宅診療を行う診療所の先生方と家族を支援するレスパイト入院や緊急入院の受け入れに注力します。今年もよろしくお願い申し上げます。

○宮地病院 院長 高橋宏二



経験は生きるが加齢による体力、気力、知力の低下は自然の摂理。生老病死の四苦は自分のご都合どおりにならない最たるもの。日々、愚痴らず、こぼさず、腹立てず、ただただ笑顔、お蔭様でと過ごす一年でありたいと願っております。人生の最終段階における医療が一人ひとりの自己決定に基づきなされる日が来ることをも夢見つつ。

○宮地病院・本山リハビリテーション病院  
看護部長 伊勢眞佐子



超高齢化に伴い、患者は在宅をベースにし、時々入院、地域に帰る。入退院を繰り返す。そんな中、看護職はその方の立ち位置で、最期まで自分らしく暮らす事に対し、同じ認識を持ち、看護を繋いでいきたい。私自身がシニアとなり、生きる意味を考え、看護できる事に感謝しております。

○本山リハビリテーション病院

院長 大洞慶郎



本院がオープンして今年の7月で、丸3年になります。開院の初期としましては、職員の皆様の頑張りや病棟行事などを活発に行っており、順調な滑り出しではないかと思っております。しかし、まだまだ努力が必要と思われるところもありますので、今後は中期的な展望を持ち、少しずつでも改善していきたいと思っております。



事務局長 津本宣幸

昨年宮地病院に立ち上げた短時間リハビリテーション「リハスタジオM」は、紆余曲折がありましたがやっと軌道に乗り、今年は、更に期待が持てそうです。また、本山リハビリテーション病院は安定して来ました。

最近、適度な運動と野菜を多く採り健康に心掛けています。



内科 濱田浩一郎

今年も昨年同様に無理せずペースを保ちながら(仕事とプライベートを両立しながら)皆様とともに一年を無事に過ごせるようにしたいと思います。



内科 都築祐子

「もう少し運動しましょう」「体重を減らしましょう」「夜遅くに甘いものはやめましょう」などと常日頃言っている私ですが、昨年の健康診断の結果を見て、反省することばかりです。「言うは易し、行うは難し」ですね。



整形外科 古泉智文

本年より整形外科は常勤2名体制となります。より一層の丁寧な質の高い診療を行うよう心掛けて参りますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



内科 金澤義純

昨年8月より就職致しまして何とか病院に慣れてきました所ですが、職員の皆様には大変親切によくして頂き深く感謝致しております。今年ももっと地域の患者様と職員の皆様のお役に立てる様に尽力して参りたいと思います。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。



総合診療科 嵯峨山健

戦後70年目の昨年は、我が国だけでなく、世情不安定な1年でありました。年頭にあたり、本年は平穏な1年でありますようお願いいたします。今年も微力ながら、地域の医療に少しでも貢献できるよう、日々精進いたしたいと思っております。



新入ドクター紹介

1月より、整形外科で月・水・金を裏辻雅章医師が担当することになりました。皆様、宜しくお願い致します。

裏辻雅章(うらつじ まさあき)

昭和26年7月21日生 63歳

神戸労災病院整形外科部長、三菱神戸病院副院長、大阪中央病院整形外科顧問などを経て、今年1月から宮地病院に勤務。



本山リハビリテーション病院

脳神経外科 本崎孝彦

髪の毛が薄くなっていくのは仕方のないことです。気力(やる気)はまだありますが、体力の方が次第についていなくなっているようです。まだ残っている気力で、衰えつつある体力を補っていききたいと思います。



リハビリテーション科 佐藤友治

近年、iPS細胞など新たな治療に対する期待が高まっていますが、まだ解決すべき問題が山積しています。神経細胞の移植が出来るようになってもリハビリは今以上に重要であり、その時に備えて今後も精進する所存です。



リハビリテーション科 山口淳

個人的な内容で恐縮ですが、昨年末から本年始にかけて宮地病院と本山リハビリテーション病院でお世話になり、関係各位に深謝いたします。本年も公私ともども皆様の「かけはし」となるよう尽力したいと思います。



内科 柱本圭子

昨年の抱負は、筋トレを頑張る、でした。実際、頑張りました。腕立ても楽勝です。ジムでおばさんがウェイトゾーンに入るのには勇気がいりましたが、もう大丈夫。今年はランのタイム短縮を目指して頑張ります!



医心伝心

地域の人たちが安心して生活できるよう、病院と地元クリニック・診療所が連携して医療に携わる「地域医療ネットワーク」。このコーナーでは宮地病院と「病診連携」を行っている医院・クリニックを紹介します。

○関節リウマチと骨粗しょう症の診察・治療に注力。通所介護リハビリサービスも展開

今回紹介するかみむら整形外科クリニックは、2012年に開業しました。宮地病院の最寄り駅でもあるJR神戸線摂津本山駅南口からわずか50mの好立地にあります。関西医科大学を卒業した上村正樹院長は浜松市の聖隷三方原病院や神戸市の神鋼記念病院などで多くの手術経験も持ちますが「自分が診察した患者様をしっかりと診るには開業医が適している」と、クリニックを開業することにしました。

同クリニックが注力しているのが関節リウマチと骨粗しょう症の診察・治療です。骨粗しょう症の診察では「より詳しい検査が必要な場合や治療が入る時には宮地病院でMRI・骨密度検査を

行ってもらっています」。そこで上村院長が心がけているのが「必ず2人以上の目で見ること」です。このため、患者様には宮地病院での所見と上村院長の診察結果を合わせて伝えるため、検査後2,3日おいてから受診してもらうようにしています。また転倒予防の一環として、体操や運動をメインとしたリハビリテーションも出来るようリハビリルームを併設しています。午前診と午後診の間の時間を利用して通所介護リハビリサービスも展開。2人の療法士と話し合いながら患者様一人ひとりの状況に合わせて治療を進めています。

○「街のお医者さん」として、様々な患者様の窓口でいたい

上村院長は「医師としてのレベルを落とさないように」と、週末は各地で開



かれる講演会に参加しています。クリニックとしての理想をお聞きすると「街のお医者さんとして、何でも診られるようでありたい」と話されました。ただし専門外で治療できないケースは、他施設を紹介されています。また地域の病院とも強い連携があり「いざとなったら入院を受け入れてくれるので助かっている」とのことです。

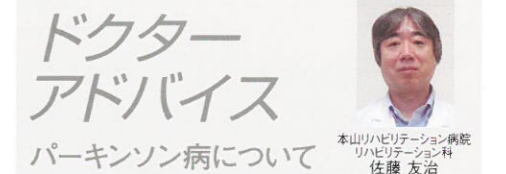


かみむら整形外科

〒658-0081  
神戸市東灘区田中町1-11-20  
TEL078-412-3666

上村正樹院長略歴

関西医科大学を卒業。京都大学医学部附属病院や大津赤十字病院などで勤務。聖隷三方原病院整形外科医長、神鋼病院整形外科医長を経て2012年にかみむら整形外科クリニックを開院。



ドクターアドバイス

パーキンソン病について

パーキンソン病は脳が出す指令が伝わりにくくなり、円滑な動きがしにくくなる病気です。

50~60歳代で発症することが多く、ゆっくり進行します。パーキンソン病は手足のふるえ、筋肉のこわばり、動きが鈍くなる、バランスが悪くなるなどの運動症状が中心と長らく考えられていましたが、近年は運動症状以外にも多彩な症状があり、全身性の疾患と考えられるようになってきています。これらの症状には便秘、排尿障害、睡眠障害、抑うつ、発汗、立ちくらみなどがあります。

現在は様々な種類の薬があり、一定期間は症状の改善が期待できます。また、運動の効果があるといわれているため、リハビリなどで体を動かす習慣をつけましょう。パーキンソン病に見えても異なる疾患の場合があり、治療法が異なりますので、正確な診断のため一度は専門機関の受診をお勧めします。

健康レシピ

文:本山リハビリテーション病院 栄養科

リハビリの効果上げる食事のポイント

①十分なエネルギー補給

持久力を高め、筋肉を減らさないようにするために「炭水化物」と「脂質」でしっかりエネルギーを補給する。



②たんぱく質は多めに

筋肉を増やすために「たんぱく質」が必要。特に、筋トレをしている人は不足しないように注意する。

③栄養バランスのとれた食事

「炭水化物」「脂質」「たんぱく質」の代謝を高め、体の調子を整える「ビタミン」「ミネラル」をいろいろな食品からバランスよく摂る。

豆腐のお好み焼き

生地に豆腐を加え、豚ロース肉を使用し、「たんぱく質」UP!!

材料(1人分)				
A	木綿豆腐	140g	豚ローススライス	40g
	小麦粉	10g	サラダ油	2g
	卵	30g	お好みソース	10g
	だしの素(顆粒)	2g	マヨネーズ	6g
	キャベツ	90g	青のり	適量
	青ねぎ	20g	かつお節	適量
	E:390kcal		P:23.5g 塩分:1.5g	

作り方

- キャベツ(千切りまたは粗みじん切り)と青ネギ(小口切り)を切る
- 豆腐を水切りし、つぶす  
※フードプロセッサーにかけた方がなめらかに仕上がります
- Aを混ぜ合わせ、生地を作る  
(お好みで天かすや桜えび、紅生姜などを加えてもよい)
- ③に①を加え、お好み焼きの要領で焼く
- ソースとマヨネーズをかけ、青のりやかつお節をトッピングする